



あいらの

始良市議会 会派“市民くらぶ”所属

小田原まさる



後援会だより

R7.4 Vol.1 国民民主党 鹿児島県連 副幹事長

市民の声を活かすための議会改革とは？

議員定数削減と議会基本条例改正を **議員発議!!**

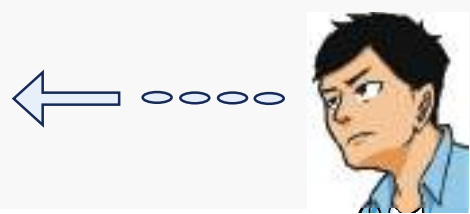
議員定数22人への削減議案(無投票選挙回避) =>... **否決**

無念!...1850万円の支出削減出来た(引用:補正予算資料)変更議案。

リトマス議案..... **結果は赤へ**

賛成													反対											総投票数
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	21
宇原 隆一	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	塩元 秀明	

舞台:本会議場、3時間・ネット中継のガチンコ勝負



貴方が選んだ議員は...?

定数・報酬をめぐる経緯

(引用:市議会ネット中継画面から転写)

令和四年五月から、議会改革推進委員会幹事会が数回に亘り審議した当初案は、議員定数十九人・報酬三十五万八千円で、議会費や執行部の議会対策費も含め約三千万円が削減可能となる案でした。

(次ページイラスト表参照)

市議会全員の議会改革推進委員会に提案、「人口増の始良市は定数削減すべきでない旨の他市議長から指摘を受けた。」との議長発言もあり、十九人への削減案は却下されました。

(引用:委員会会議録)

無投票市議選は避けるべき立場からの定数削減でしたが、報酬増額案とセット:これが議会の主流となり、旧幹事会は報酬増額の提案書作成に追い込まれました。

定数削減で何とか捻出できた約八万円増額案でも、十万元以上の増額主張の異論が出て、二回にわたる幹事会案は差し戻し、定数二十人・報酬四十一万二千元が議会の総意となったものです。

その後委員会構成が替わり、新幹事会メンバーになって半年、この問題は放置されたままでした。

これを危惧した今回の発議者四人が、先の令和六年十二月定例会で定数削減のみに絞った議案を発議したものです。